

[速報] 激アツ★マーケット 便携

卷頭ブチ抜きHOTニュース!

秋冬登場の新製品ラッシュも、いよいよクライマックス! 多くのファンが待ちわびる人気カテゴリでも、大型ルーキーが続々登場!! とりわけ人気集中の「ドラレコ」「ナビ」「LED」の3ジャンルに絞り、最たる見所を卷頭ブチ抜きで速報だ!



ドラレコ #1

まとめ: 渡辺圭史
写真: 前田亮介

イメージセンサーに画素数WQHD(2560×1440)という高解像度タイプを採用したドライブレコーダー「PAPAGO GoSafe 34G」。デジタルカメラに迫る画素数で、高画質の録画を可能にした。アルミの美しいボディは、ハイエンドモデルにふさわしいデザイン。PAPAGO!はすでに世界中で100万台以上が出荷されているという。その実力をこのフラッグシップモデルで検証してみよう。

400万画素で圧倒的な鮮明さ

PAPAGO!から発売予定のGoSafe 34Gに搭載されたイメージセンサーはフルHDを超えるWQHD画質だ。明るい広角レンズと、自動的に調整を行うワイドダイナミックレンジで、広い範囲を鮮明に

美しさを追求しながら安全運転、防犯も見守る

撮影方法はエンジンのON、OFFと連動して自動的に録画を開始、終了する常時録画、衝撃を検知した時、自動的に映像を保存する衝撃録画、録画ボタンを押して残したい映像を保存する緊急録画の3種類がある。GPSを内蔵



PAPAGO!
GoSafe 34G

価格: オープン

(予想実勢価格: 2万1980円)

超える! フルハイビジョンを

録画できる。

ナンバープレートなども、高精細400万画素イメージセンサーのおかげではっきりと映し出される。映像の確認には大型2・7インチモニターが役に立つことだろう。

精密機械を守るために採用されたのが、熱がこもらないハイエアフロー設計。サイドに見られるハニカム構造がその設計を象徴している。



劣悪な車内環境から精密機械を守るために、ハイエアフロー設計を採用。サイドのハニカム構造を空気が流れることで、熱を外に逃がす効果を発揮。全体の空気の流れを考慮した設計だ。

高解像度CMOSとハイエアフロー設計

100×1440(=WQHD)のイメージセンサーとF1.9という明るい広角レンズを採用。また、車内環境で録画できるようになった。

